こどもまんなか
こども家庭庁

保育所等におけるICT化推進等事業に係るシステム導入による効果等の報告書

調査の目的

本調査は、保育所等におけるシステム導入の効果や活用状況を把握し、保育士の業務改善・負担軽減及び保育の質の向上に向けて、「保育所等業務効率化推進事業（保育所等におけるICT化推進等事業）」の今後の施策検討に活用することを目的として実施した。

調査期間

令和８年５月29日(金)～令和８年７月17日(金)

調査対象

「令和７年度（令和６年度からの繰越分）保育対策総合支援事業費補助金（保育所等業務効率化推進事業（保育所等におけるＩＣＴ化推進等事業）等（令和６年度補正予算分）分）の国庫補助について」（令和７年９月18日こ成保第542号こども家庭庁長官通知） 及び「令和７年度保育対策総合支援事業費補助金（保育所等業務効率化推進事業（保育所等におけるＩＣＴ化推進等事業）等（令和７年度補正予算分）分）の国庫補助について」（令和７年12月26日こ成保第690号こども家庭庁長官通知）によりシステムを導入した保育所等

回答数

1,305施設（保育所855施設、保育所型認定こども園11施設、幼保連携型認定こども園214施設、地域型保育事業所225施設）

調査結果（概要）

（１）時間面での効果

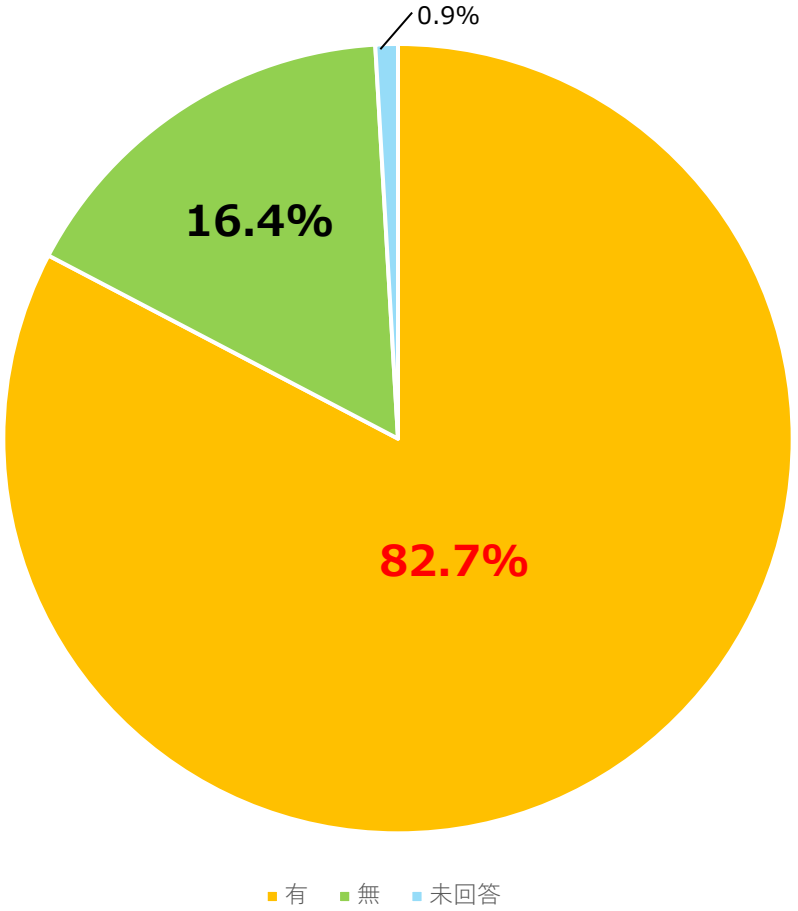
① システム導入により業務時間を削減できたと回答した施設は82.7%であり、導入施設の約8割で業務効率化につながった。
② システム導入により残業時間を縮減できたと回答した施設は41.0%であり、約4割の施設で時間外勤務の縮減につながった。
③ システム導入により職員間のコミュニケーション時間が増加したと回答した施設は59.9%であり、業務効率化によって職員間の情報共有や連携の促進につながっていることが示唆された。
④ システム導入によりこどもと直接関わる時間が増加したと回答した施設は65.1%であり、約7割の施設でこどもと向き合う時間の確保につながった。
⑤ システム導入により保護者とのコミュニケーション時間が増加したと回答した施設は53.6%であり、約5割の施設で保護者対応の充実につながった。
⑥ システム導入により研修に参加する時間が増加したと回答した施設は28.4%であり、約3割の施設で職員の学びや資質向上の機会の確保につながった。

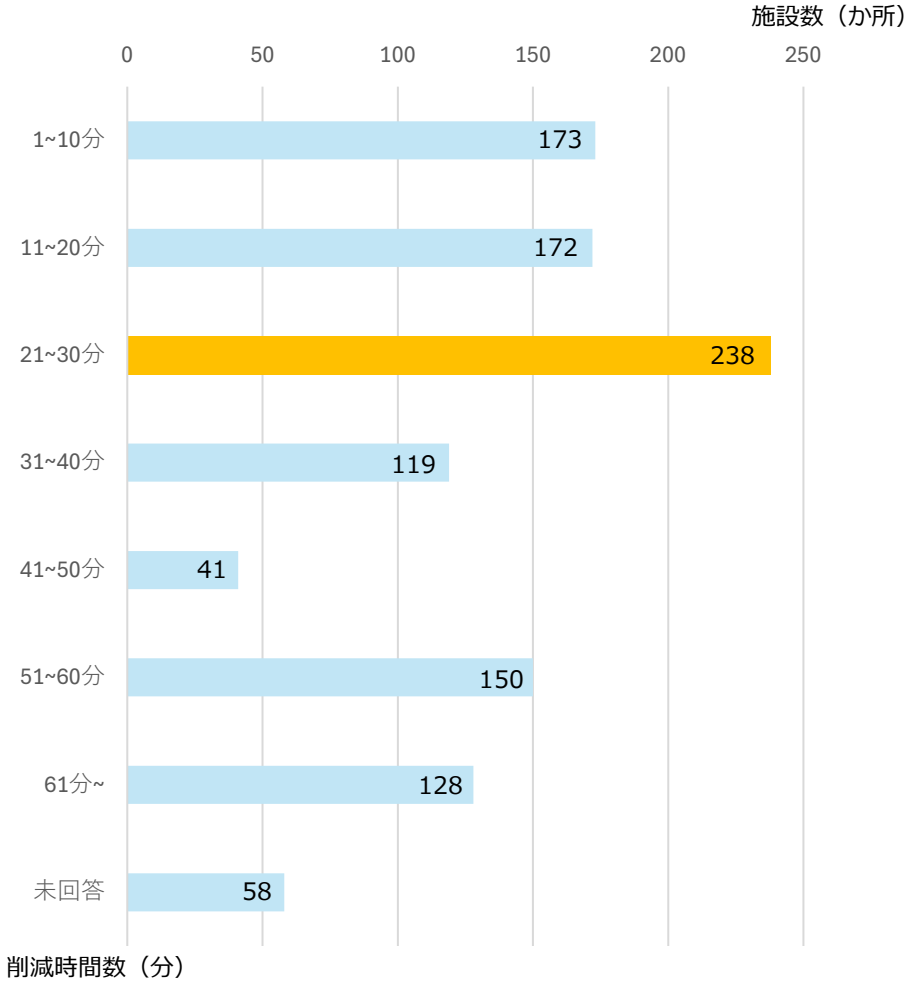
（２）費用面での効果

① システム導入により費用面を削減できたと回答した施設は68.6%であり、約7割の施設で費用削減につながった。費用削減の内容としては園だより等の印刷コストの削減が挙げられ、削減した費用をシステムのランニングコストに充当した施設もみられた。

（１）システム導入による業務時間削減の有無と削減した業務時間数

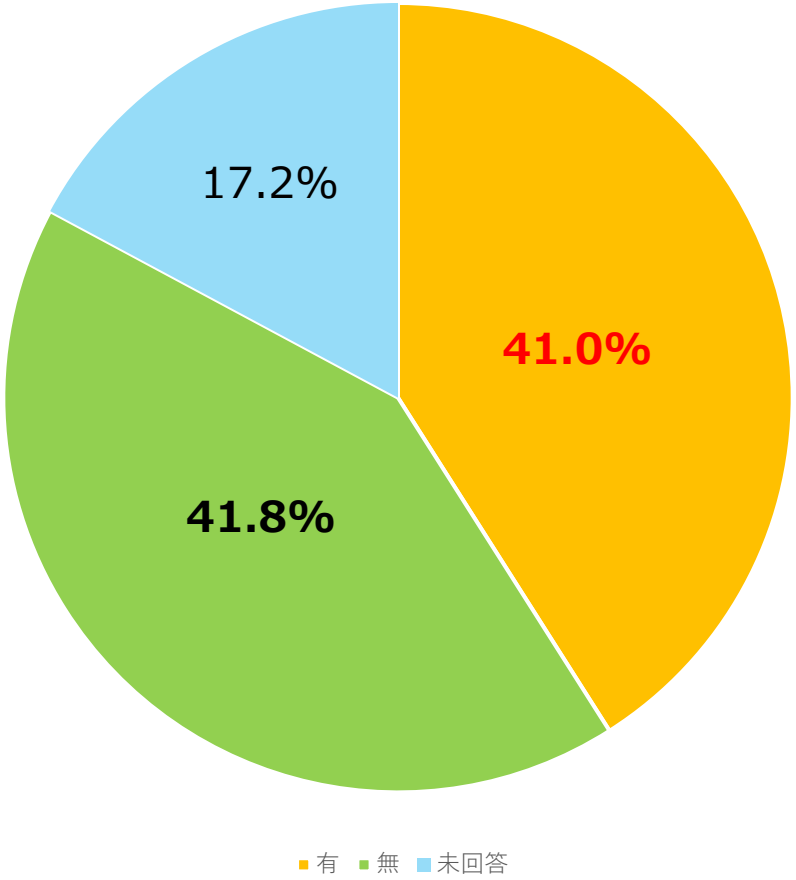
○ システム導入により業務時間を削減できたと回答した施設は、82．7%だった。
また、業務時間を削減できたと回答した施設のうち、21～30分削減できたと回答した施設が238施設と最も多かった。

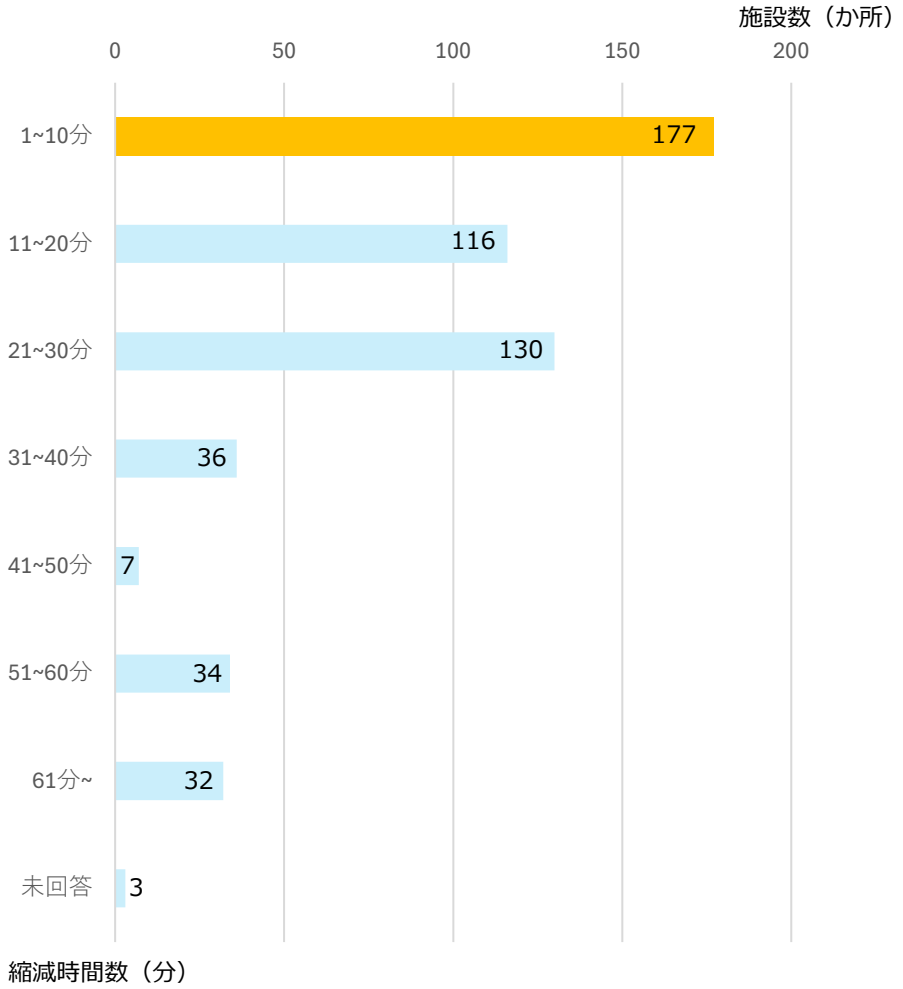




（１）②システム導入による残業時間縮減の有無と縮減した業務時間数

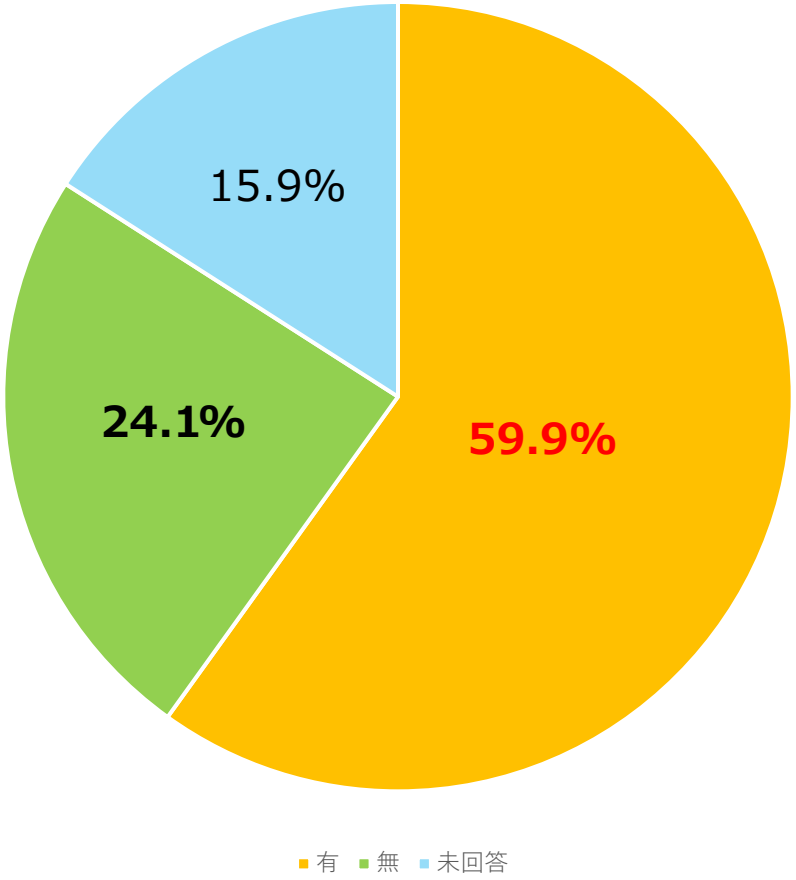
○　システム導入により残業時間を縮減できたと回答した施設は、41．0%だった。
　また、残業時間を縮減できたと回答した施設のうち、１～10分縮減できたと回答した施設が177施設と最も多かった。

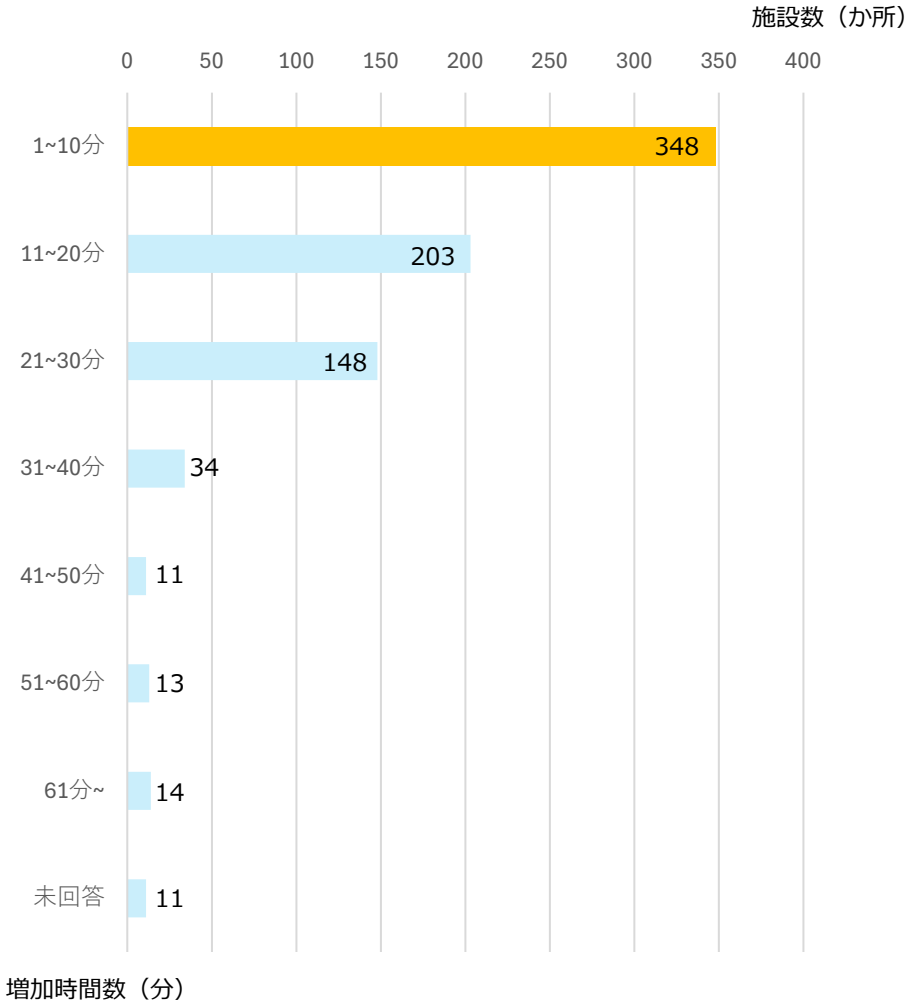




（１）③システム導入による職員同士の話し合い時間の増加の有無と増加時間数

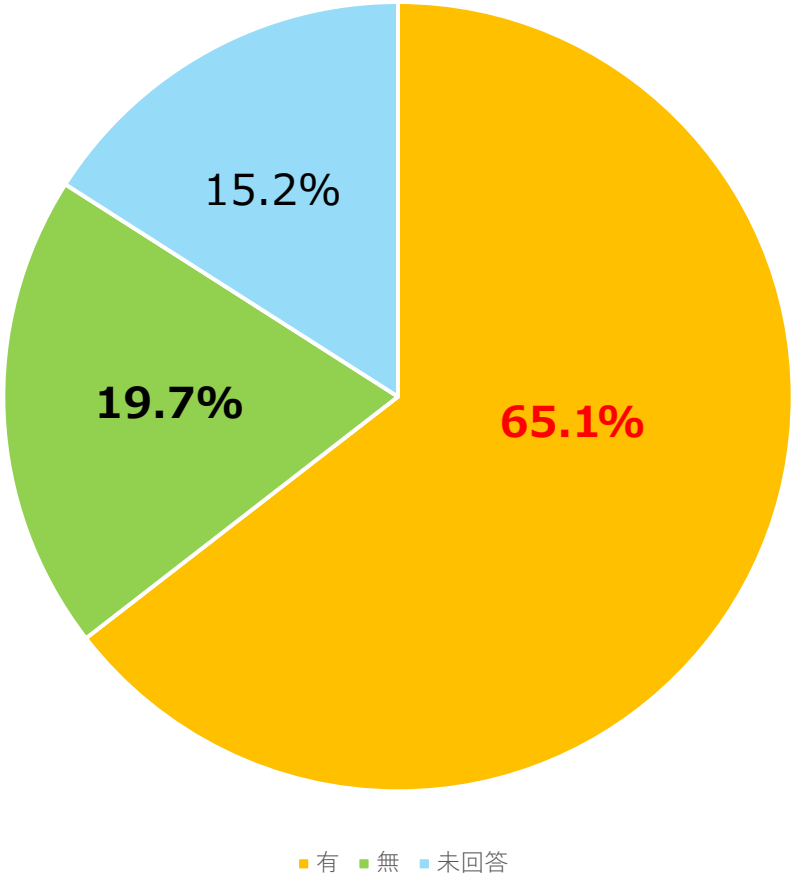
○ システム導入により職員同士の話し合いの時間が増加したと回答した施設は、59．9%だった。
また、職員同士の話し合いの時間が増加したと回答した施設のうち、１～10分増加したと回答した施設は348施設と最も多かった。

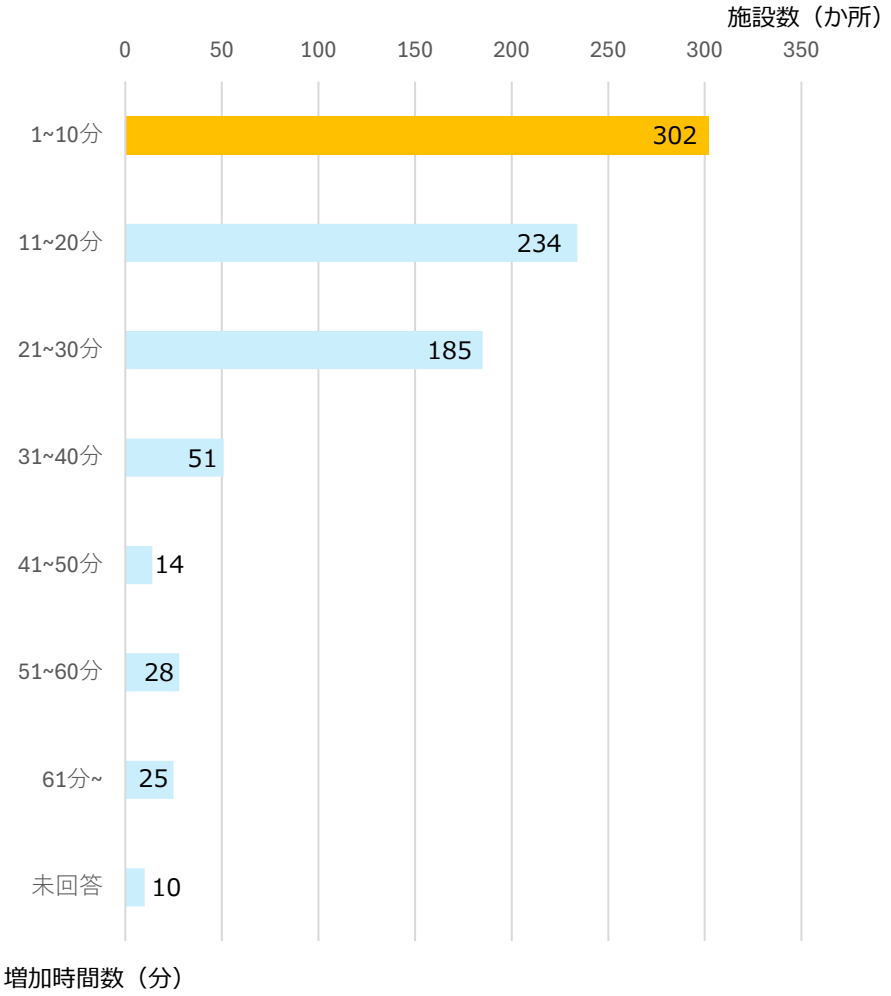




（１）④システム導入によるこどもに直接対応する時間の増加の有無と増加時間数

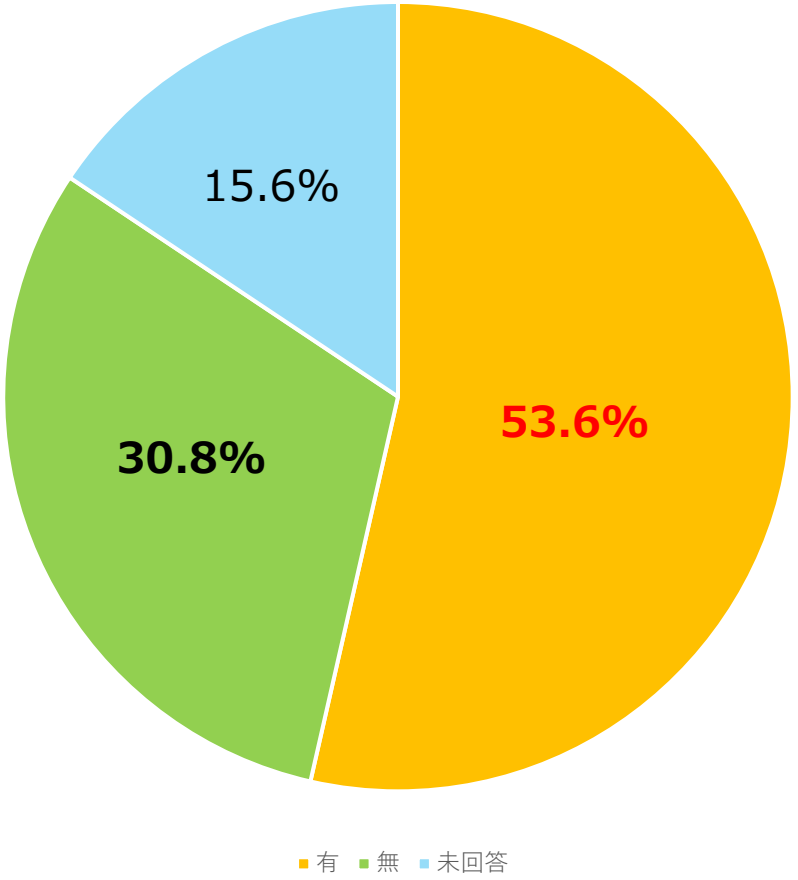
○ システム導入によりこどもに直接対応する時間が増加したと回答した施設は、65．1%だった。
また、こどもに直接対応する時間が増加したと回答した施設のうち、1～10分増加したと回答した施設が302施設と最も多かった。

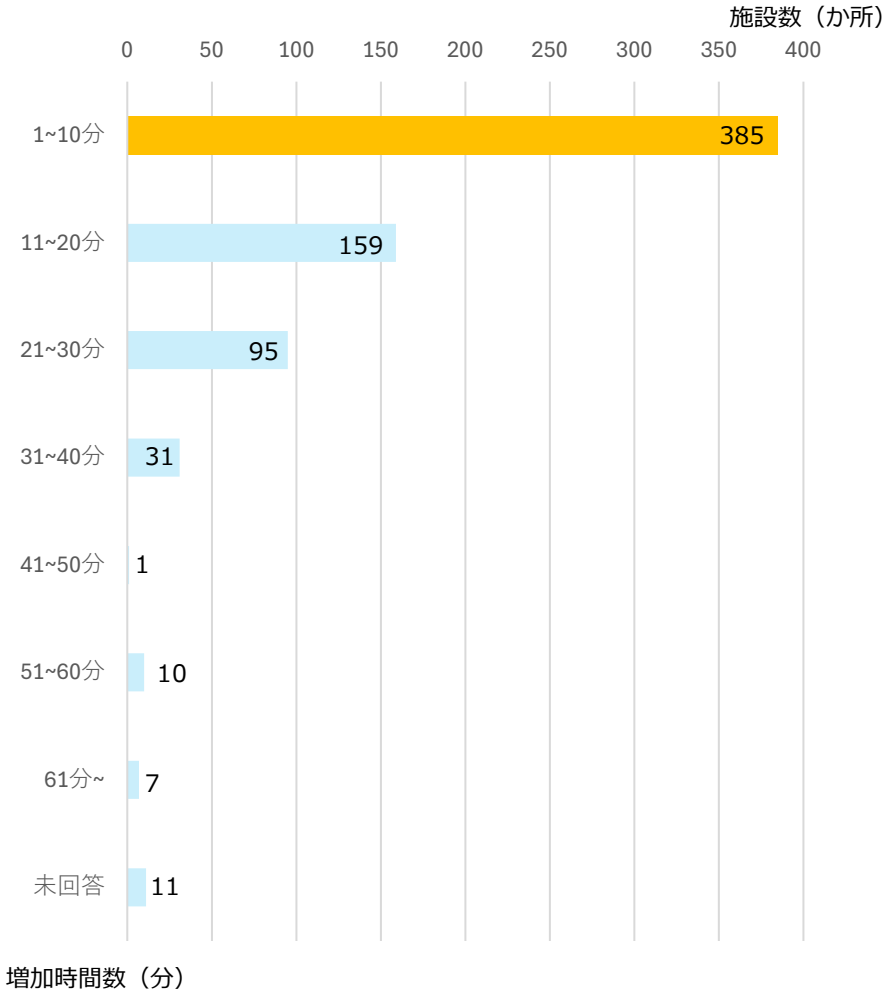




（１）⑤システム導入による保護者に直接対応する時間の増加の有無と増加時間数

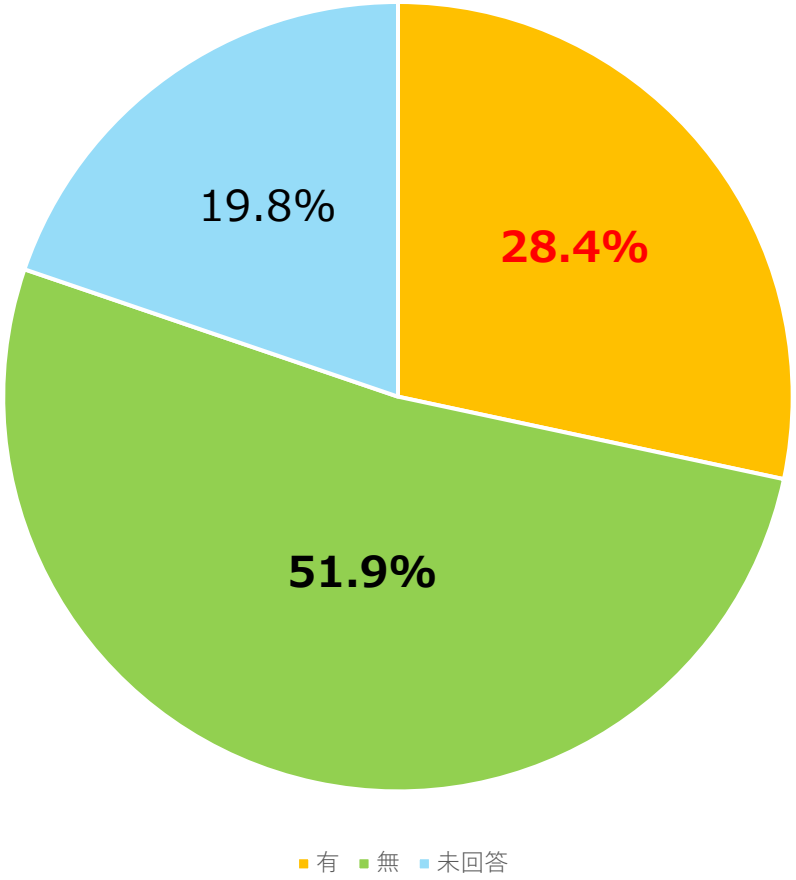
○ システム導入により保護者に直接対応する時間が増加したと回答した施設は、53．6%だった。
また、保護者に直接対応する時間が増加したと回答した施設のうち、１～10分増加したと回答した施設が385施設と最も多かった。

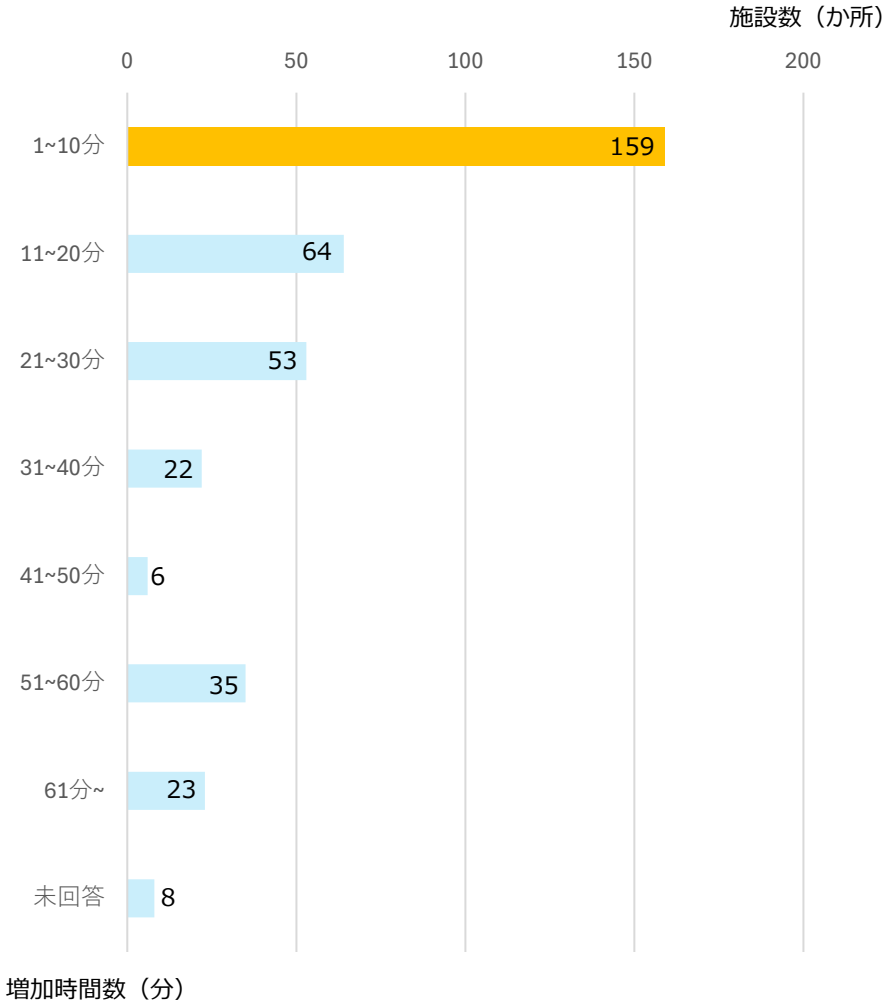




（１）⑥システム導入による研修に参加する時間の増加の有無と増加時間数

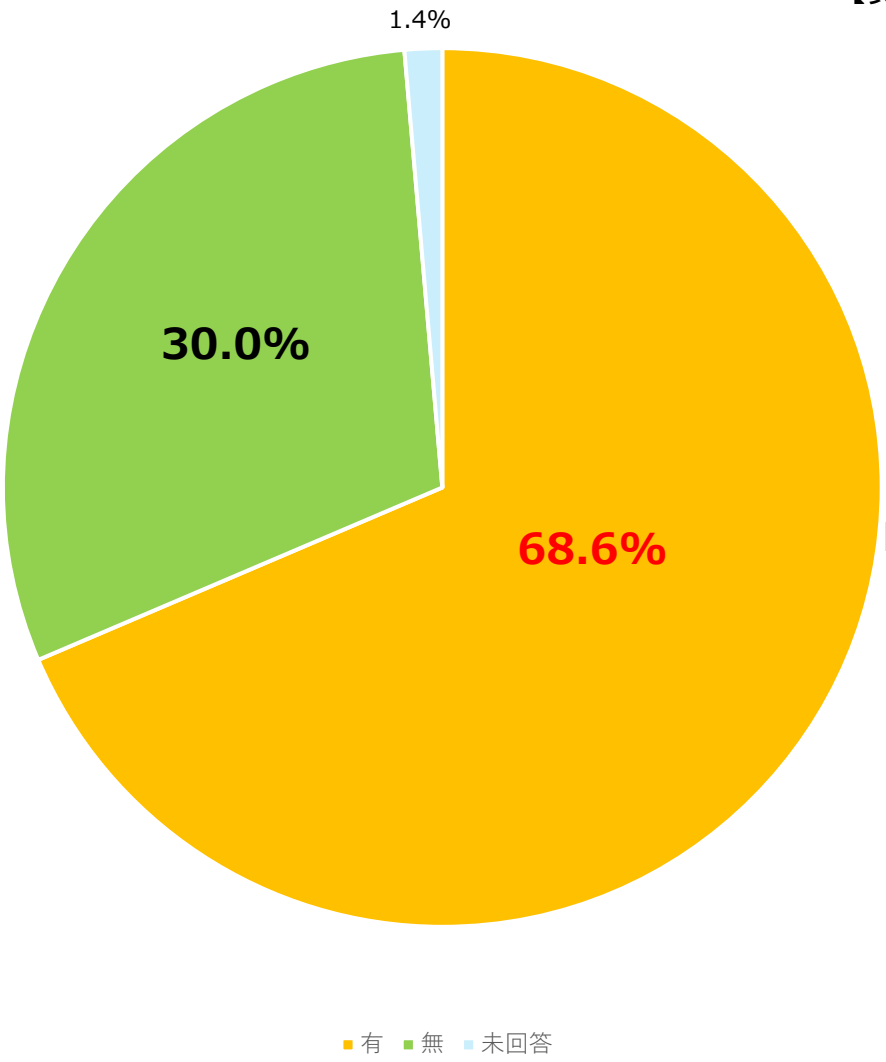
○ システム導入により研修に参加する時間が増加したと回答した施設は、28．4%だった。
また、研修に参加する時間が増加したと回答した施設のうち、１～10分増加したと回答した施設が159施設と最も多かった。

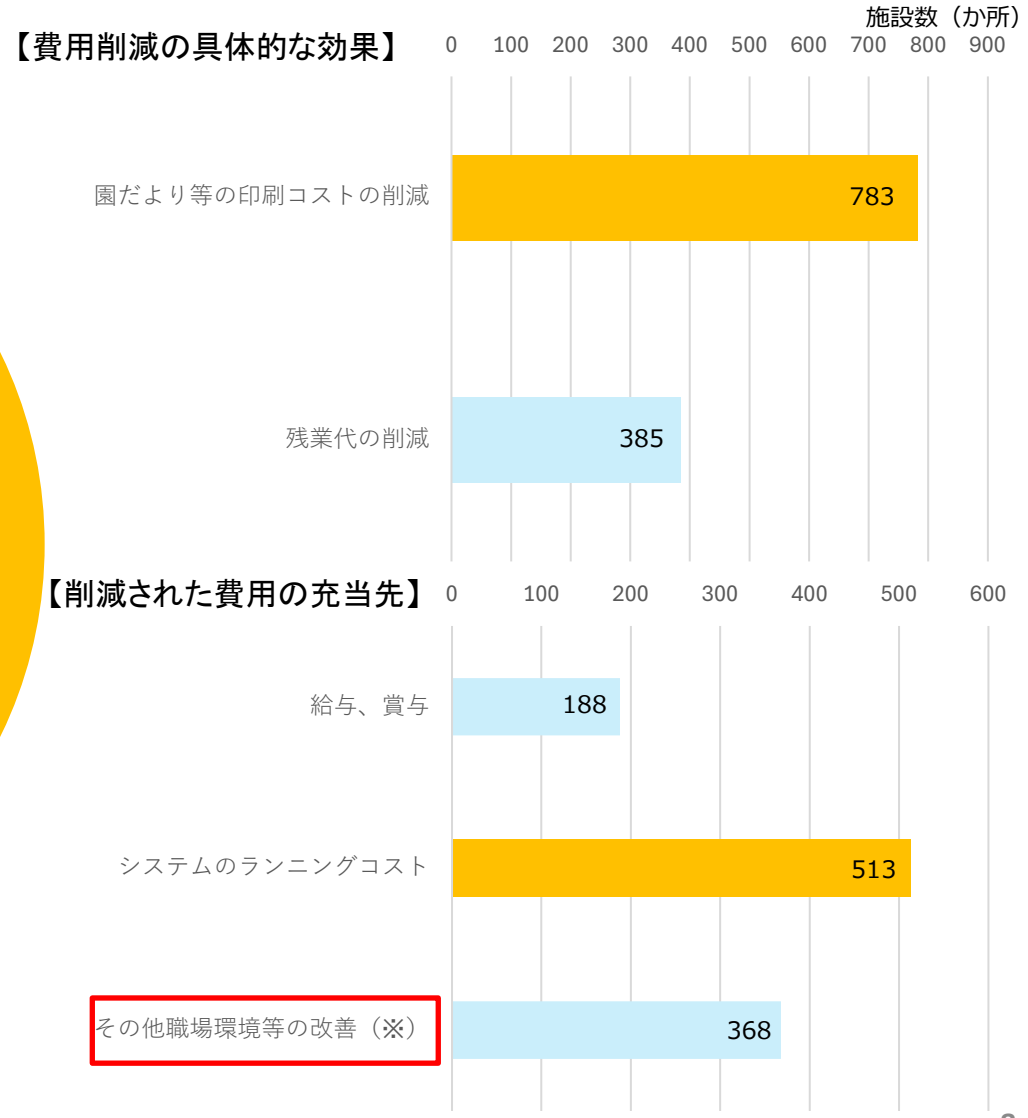




（２）①システム導入による費用面の削減の有無とその効果（複数選択可）

○ システム導入により費用面を削減できたと回答した施設は、68．6%だった。
費用面を削減できたと回答した施設のうち、783施設が園だより等の印刷コストの削減につながったと回答した。
また、費用面を削減できたと回答した施設のうち513施設が、削減した費用をシステムのランニングコストに充当したと回答した。





（２）②システム導入による（※）「その他職場環境等の改善」の具体的な内容

①　園児の登園及び降園の管理に関する機能

- 毎日全園児の登降園をチェックすることに時間がかかっていたが、瞬時に確認ができるようになり助かっている。
- 園児の欠席連絡や保護者からの連絡に取られる時間が省かれた。またシステムによる情報共有により職員会議の時間が短縮された。
- 登降園時間を保護者の責任において正確に記録できるようになった。

②　保育に係る計画・記録に関する機能

- 保育室内のヒヤリハットマップやお散歩ルートマップのデータ作成にも活用している。
- 計画や記録物の職員間での情報共有や確認がタブレット上でできるようになったため、作業効率の向上につながっている。
- 指導計画作成等をシステム上で一元管理できるようになり、職員の事務負担軽減に繋がった。

③　保護者との連絡に関する機能

- その日の給食とおやつを写真で配信することによりサンプルケースでの食品の掲出を止めることができ、食品ロスの改善に役立った。
- 災害荒天時、急を要する保護者周知を遠隔で、かつ至急で対応できるようになり、災害時出勤のリスクが大幅に減った。
- 毎日の連絡帳の記入に対する時間の削減ができ、職員に余裕が出てきたように感じる。

④　キャッシュレス決済に関する機能

- 金銭取り扱い事故や金銭取り扱い事務の削減による事務時間確保に加え、金銭収受の漏れが無くなりストレス軽減にもつながった。
- 保護者の方との現金のやり取りがなくなり、効率化につながった。
- 金融機関へ入金に行く時間が削減された。

⑤　その他

- システム導入により、いつでも好きな時間に事務作業に取り組めるようになった。
- 消耗品費が減少した。
- システム導入により削減された費用を、園児向け教材の購入費用等に充当した。
- タブレットで記録や記入ができるようになり、職員が仕事を持ち帰ることがなくなった。
- 初めてのシステムの導入により、職員同士で話し合ったり教えあったりするなど、活発なコミュニケーションが行われるようになった。
- 職員の休憩を十分に確保できるようになった。
- 業務改善（書類、ノンコンタクトタイムの導入）が進めやすくなった。
- 毎月必要なクラスの出勤簿や職員のタイムカードの記入・計算に要する時間を短縮できた。

（３）システム導入によるその他の導入効果（自由記載）

- 災害時の緊急連絡や安否確認機能の活用、保護者との情報共有の強化につながった。
- 保護者に急なお知らせをするときに連絡しやすくなった。
- 同じ作業を繰り返すことなく一元化できたことで、効率的に仕事を進めることができる。
- 印刷物の削減につながった。
- 出席簿への記入が不要になった。
- 朝の欠席連絡等の電話連絡や連絡帳作成、掲示物等の印刷・掲示、現金の受け渡しや管理などを電子化した事で保育士の業務負担が大幅に軽減した。
- 転記漏れなどのヒューマンエラーの減少及び精神的負担が減ったように感じる。
- 外国人のこどもの保護者とのコミュニケーションツールとしては、紙ベースよりもデジタルツールを利用することで相互理解が早いと感じる。
- 教材研究や保育準備に費やす時間が増加し、保育の充実につながっている。
- 紙媒体では管理職が確認する時間がかなりかかっていたが、システム導入により空いている時間に共有して閲覧できるようになったため、確認する時間が大幅に減った。

（４）システム導入後の課題、効果が出ていない場合の理由等（自由記載）

- デジタル機器が苦手な職員が機器に慣れるのに時間がかかり、理解するまで不安が続く。
- 通信環境や端末不具合時の対応体制の整備が課題である。この課題を踏まえて、トラブル発生時の対応手順の明確化を行った。
- 園児の午睡中に作業しているため、照明が暗いこともあり職員が眼精疲労を感じている。
- 職員が同時に事務作業を開始した場合、タブレットの台数が足りなくなり、待ち時間ができる。
- 保育中に端末を操作する職員が気になる。
- 導入初期には、職員の操作能力に差が生じることや、従来の紙媒体管理からの意識の切り替えに時間を要した。
- タブレット内での記録だと記入出来ているかどうかが全体的に見えない状態になり、記入漏れがよくあるので、紙にも印刷して保存するようにしている。
- 導入した直後であり、あまり活用できていない。今後、職員研修で検討しながら、使える機能を増やしていく予定である。
- 個人情報の取扱いには気をつけなければならないと感じている。
- 書類作成に改良の余地があると感じている。より簡素化し、職員の負担軽減に努めたい。